



内容目次

- ・第17回クリスマスコンサートのお知らせ
- ・腰痛について
- ・インフォメーション
- ・外来診療表



発行元 地方独立行政法人さんむ医療センター
広報編集委員会
<http://www.sanmu-mc.jp/>

第17回 クリスマスコンサートのお知らせ

毎年恒例のクリスマスコンサートを開催します。

今年も、コンサートによる楽しい催しを、患者さま、ご家族の皆さまや地域の方々に提供したいと思っておりますので、多数お誘いあわせのうえご参加ください。

日時 平成25年12月23日（月・祝）

13時30分 開演

会場 さんむ医療センター 北棟 1階外来ホール

内容 コンサート



腰痛について

「腰がいたい」という症状で病院を受診される患者さんから、こういう話を伺うことがあります。

①腰が痛くて病院にいったら、レントゲンでは異常が無いといわれた。

では何で痛いのか？余計な検査をされるのは嫌なので、もう病院には行きたくない。

②むかし腰が痛くて近くの整形外科医院を受診したら、ヘルニアだと言われた。

その後もときどき腰が痛くなるけど、ヘルニアはもう一生治らない？

腰痛の原因となる腰椎について簡単に説明し、その後うへの二つの疑問に答えていきたいと思います。

腰痛は人生のうちに約 85%の人が経験するといわれています。特に我が国の高齢化に伴って、腰下肢痛を訴えて整形外科を受診する患者さんの数は年々増加しています。人間の背骨は、頸椎、胸椎、腰椎、尾椎にわけられます。二本足で歩く様になってから人間の背骨は緩やかな S 字のカーブを描くようになりました。四つ足歩行の動物と異なり、腰痛が生じるのはある意味、ヒトとして生まれた宿命であるといえます。

では腰のどの部分が痛いのでしょうか。腰痛の原因となる部分は主に、椎体、椎間板、椎間関節、腰背筋、神経、などが考えられますが、実際は検査をしても明らかな異常がみあたらない、いわゆる「ぎっくり腰」のような病名のはっきりしない腰痛の方が多いのです。なぜレントゲンや CT、MRI を撮影するかというと、見逃してはならない重症な腰痛が無いか確認しているのです。放っておいてはいけない病気としては、腰椎の骨折、椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症などの神経を圧迫する疾患、細菌が椎間板や背骨についてしまう化膿性椎間板炎、化膿性脊椎炎、癌の脊椎転移などが挙げられます。

疑問①

レントゲン写真を撮影したのは無駄ではなく、放っておくと重症になってしまう疾患を見逃さないためです。あまり放っておくと手術をしても重篤な合併症が残ってしまう場合が有ります。痛みが続く場合は病院を受診するようにしましょう。

疑問②

一般の方々が多く誤解しているところです。腰が痛い＝椎間板ヘルニアではありません。また、レントゲンで椎間板のスキマが狭い（擦り減っている）＝椎間板ヘルニアでもありません。椎間板の中心にある髄核という部分が脊柱管内に飛び出し神経を圧迫してしまうため、椎間板ヘルニアの場合は腰だけでなく下肢痛や下肢のしびれをきたすことが多くなります。

腰痛でお困りの方や、もしご不明な点があれば、ぜひ整形外科を受診のうえお気軽にご相談ください。

インフォメーション

1. 休診について (11/28 現在)

12月 05日 (木) 整形外科 牧医師休診

12月 20日 (金) 内科 森藤医師休診

心臓血管外科 林田医師 12/23 (月) 休日の為 12/16 (月) に変更

12月 26日 (木) 外科 須ノ内医師休診

12月 27日 (金) 皮膚科 中島医師休診

(休診等の情報は、北棟1階の掲示板をご覧ください。)

2. 年末年始休診のお知らせ

平成25年12月28日(土)～平成26年1月5日(日)まで
休診となります。



お問い合わせ先

地方独立行政法人

さんむ医療センター 地域医療連携室

住所：〒289-1326 千葉県山武市成東 167 番地

TEL：0475 (82) 2521 FAX：0475 (82) 3354

